

秀嶺天

相浦中

学校通信

発行人 宮原

通算 74号

H30.10.10

校訓

今日も、
明るく、
誠実に

後期：文化輝く相中にしよう！

十月九日（火）後
期始業式を開催。



前期の実績と反省を踏まえ、後期は校歌の一番の歌いだしにあるような「文化輝く相中に」との話をしました。（中略）

相中の文化といえは

一、凡事徹底の文化

二、つながる文化

三、夢のために努力する文化

四、部活動が盛んな文化

後期では三つに絞って目指しましょう。凡事の中で、今年度重点的に取り組んでいる「無言清掃の文化」を学校全体で定着させるようにしましょう。無言で黙々と清掃する姿は修行僧にも似た神々しさがあるものです。

同級生同士、下級生や上級生と

のつながり、先生とのつなが

りを大切にした取り組みは体育大会ですでに実践し、大きな成果を上げました。このつながりを絶やさずに、つながった系を大きくし、学級や部活動の中で、いじめ根絶や一人きりの友を作らないなどの「つながる文化」をさらに強く広くしていきましょう。

三年生はすでに進路希望を考え、受験のための準備をしている生徒がほとんどだと思っています。

「受験は団体戦」という言葉もあります。個人で勉強することは大切です。しかし、学級や学年の学習に対する雰囲気というものも大切です。一、二年生も今、授業で学習しているところが受験にも出題されます。今まさに受験勉強

をしていることになりました。学力向上とともに、みんなで「夢に向かって努力する文化」を高めていきましょう。（後略）

各学年代表生徒あいさつ



三年二組

福田祐大

今日から後

期が始まり、

僕たち三年生

にとって、中

学校で過ごす

最後の学期と

なりました。これまでの経験や学び

を通して、集大成となる学期にして

いきたいと思っています。そのためには

三つの課題があります。

一つ目は、提出物を徹底させるこ

とです。「期限を守る」という意識

がまだ低く、提出物の遅れが目立ち

ます。僕自身も、期日内に提出しな

いことが多くありました。期日や時

間を守ることは、社会において必要

とされるマナーです。個人の心がけ

次第で、良い習慣へと変えることが

できます。

二つ目は、挨拶です。相中は日本

一の挨拶を目指しています。小さなことの積み重ねが日本一へとつながります。下級生の手本となるよう、三年生が率先して行い、さらに相中を盛り上げていきたいと思っています。また、挨拶とともに、反応するというのも意識していきたいと思っています。先生方の問いかけに反応せず注意を受けることがありました。緊張感をもって話を聞き、意思表示を示すことは、これからの面接練習にもつながると思います。

三つめは、本気で学習に取り組むことです。今、三年生は一人一人が進路選択の岐路に立っています。自分の力で将来への道を作るために勉強に力を入れなければなりません。しかし、受験生としての自覚や受験という危機感を感じている人が少ないようです。受験までの時間は限られています。時間を無駄にせず、志望校合格を目指して、学習計画を立て、実践していきたいと思っています。

自分が進む道をしっかりと築き、そして、相中生としての誇りをもって卒業できるよう、三年生全員で力を合わせ、素晴らしい最終学期にしていきたいと思います。